広報にいつ

発行所　新津市役所
発行人　新津市長　新津勝
電話　大代表(2)2111番
印刷所　新潟日報中業社
毎月一回発行

高齢者の医療費扶助

対象範囲を七十五歳以上に

三月定例市議会　条例改正案を即決

昭和四十七年度の市政の方針を決める三月定例市議会が、去る九日から会期を二十二日間として開かれました。この議会では、新年度の一般・特別会計予算や市総合開発審議会条例の制定など、第一日目（九日）

▼総額二十億六千六百二十万円の新年度予算編成に伴う市長の所信表明演説が行なわれました（別掲Ⅱ「三面を参照」）

▼また、条例の一部改正では、高齢者の医療費扶助をこれまでの七十七歳から七十五歳に年齢を引き下げ、四月一日から実施する（別掲条例）条例改正案ほか一件が即決されました。

▼なお、一月臨時市議会に上程され、各委員会に付託されていた次の「市道の認定および道路」は、それぞれ認定、採択されました。

▽町名変更に関する請願（田家二、秋葉一区長）

▽消火栓設置に関する請願（田家一、秋葉一、中沢区長）

▽水路拡設と側溝新設に関する請願（本町一区長）

▽道路舗装に関する請願（新潟舗装開発㈱）

▽市道の変更＝言岡町内の一中通学路ほか二件

上程された議案に対して質疑応答、賛重審議が行なわれ、四十六年度補正予算が即決されたほかは請願、陳情も含め各委員会に付託されました。

なお、議員発議として

▼国鉄貨物機関の縮小廃止に伴う意見書の提出について

▼朝鮮民主主義人民共和国金日成首相誕生六十周年在日朝鮮人祝賀団の再入国要請に関する決議について

以上二件を議決し、それぞれの関係機関に送付されました。

第四日目（十五日）

第三、四日目にわたり市長の所信表明に対して各会派から次の議員が代表質問に立ち、市長の施策をただしました。

①片岡議員（新政会）
②深井議員（革新会）
③田中議員（新政会）
④山口議員（共産党議員）
⑤佐藤議員（革新会）
⑥荒木（徳）議員（無所属）
⑦伊藤議員（無政会）

また、一般質問では五名の議員から次のようなことが質問されました。

▼教育費の父兄負担の軽減について（飯沼議員）

▼商店街の発展政策について（栗原（宏）議員）

▼郷土資料館の設置について（加藤議員）

▼社会福祉行政について（山田議員）

▼道路占用の適正ならびに更正図について（荒木（徳）議員）

▼「県医学試験場整備拡充」に関する意見書の提出について（栗原議員）

なお、議員発議として「県医学試験場整備拡充」について、議決し、県知事あてに送付しました。

その他、各常任委員会に付託された議件については、いずれも審議されており三十日の最終本会議で決定される予定です。くわしくは四月十五日発行の広報でお知らせします。

★先月号広報で四十五年度決算額の一般会計中、歳出出入額七億七百九十五万八百六十五円のほか繰越明許費として二千四百三十三万八千円の記入で、六千六百十三万九千七百三十円の黒字となったことを報告しました。なお繰越明許費とは、一年度内に支出が終わらない見込みのものについて、議決を経て翌年度に繰り越して使用が認められた金をいいます。

七十五歳以上の医療扶助は四月から実施

一昨年八月から実施された高齢者に対する医療費扶助は、好評裏に毎年度その対象範囲を広げてきましたが、さらに四月一日からは今までの七十七歳からいっきょに七十五歳に引き下げ、七十五歳以上の高齢者に対しては、その扶助を実施することになりました。

これは、「高齢者の医療費負担を軽減して、丈夫なからだで老後が過ごせるようにとの配慮から別掲の三月議会第一日目において即決され、四月から実施されるものです。

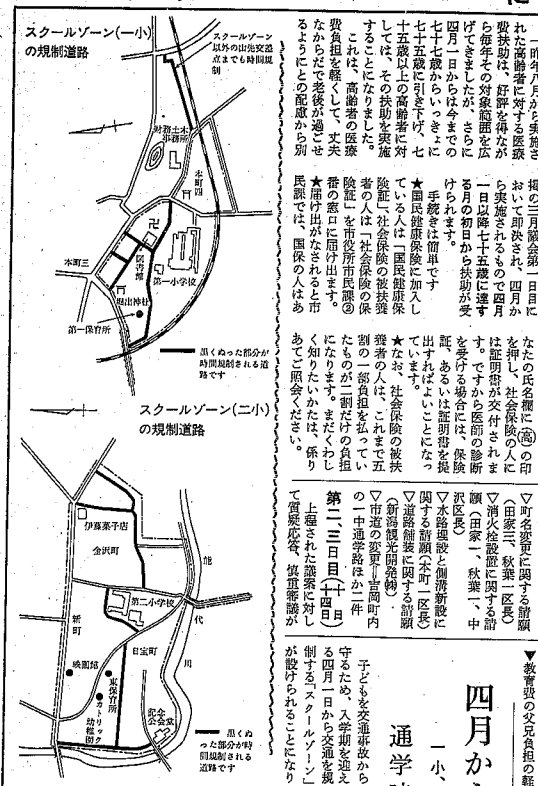
なお、一日以降七十五歳に達する月の初日から扶助が受けられます。

手続きは簡単です

★国民健康保険に加入している人は「国民健康保険証」、社会保険の被扶養者の人は「社会保険の保険証」を市役所市民課③番の窓口に届け出ます。

★届け出がなされると市民課では、国保のへはあなたの氏名欄に㊫の印を押し、社会保険の人には証明書が交付されます。ですから医師の診断を受ける場合には、保険証、あるいは証明書を提出すればよいことになっています。

★なお、社会保険の被扶養者の人は、これまで五割の一部負担を払っていたものが二割だけの負担になります。まだくわしく知りたいかたは、係りあてご照会ください。



四月から交通の時間規制

一小、二小にスクールゾーン

通学時の安全確保に協力を

子どもを交通事故から守るため、入学期を迎える四月一日から交通を規制する「スクールゾーン」が設けられることになりました。

その地域内の一部には、車両の時間規制が実施されます。

このスクールゾーンは一般的には小学校を中心として五百メートル四方を範囲とし、子どもの通学時の安全を図るためとされ、今回は別掲のとおり一小、二小ゾーンにだけ行なわれます。

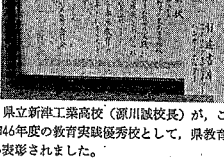
交通規制は、午前七時三十分から一時間、地域内（スクールゾーン）に★車両の進入禁止★速度制限　★駐車の禁止などが決められ、また、このスクールゾーン以外の聚北電力営業所前から山先交差点に抜ける道路も、通学時には道路が狭く、危険が伴うので同時に時間規制が実施されます。

まもなく標識などの整備も行なわれることになりますが、通学時の児童生徒の安全確保のためご協力を本部に積極的なご協力をお願いします。

なお、この規制される区域内の市民の方々に通勤などのため、規制時間内に通行することもありますが、その場合には警察署からの車両通行許証が必要ですから、早めに交付を受けるなり手続きをとっておきましょう。

新津工高が表彰受け

本年度の教育実践優秀校に



県立新津工業高校（源川誠校長）が、このほど昭和46年度の教育実践優秀校として、県教育委員会から表彰されました。

本年度表彰された学校は、小学校3か校、中学校2か校、県立高校2か校の計7か校で、新津工業高校は「全校あげての進路体制をつくり、進路に応じた意欲的な指導」という成果が認められたものです

なお、この教育実践優秀校として一昨年小学校の部で新津第一小学校も表彰を受けておりま。写真は、新津工業高校が受けた表彰状と記念品目録

相談お知らせ

4月に次の相談所が開設されます。お気軽にご利用ください。なお、相談を希望されるかたは市役所市民課までお申し込みください。

市民法律相談

▶日　時　4月12日（水）午前10時から午後3時まで
▶会　場　日宝町記念公会堂
▶担当者　弁護士

交通事故相談

▶日　時　4月14日（金）午前10時から午後3時まで
▶会　場　日宝町記念公会堂
▶担当者　県交通事故相談員

人口のうごき

（昭和47年3月1日現在）

人口	57,896
世帯数	13,481

（2月中）

出生	86	死亡	39
婚姻	15	離婚	5
転入	97	転出	165
転居	67	世帯主変更	29

新津だより

時計を正確にヨメルわけでもないし、不思議とテレビの前に現われる。チャンネルを替えびに更正図について（加藤議員）

▼社会福祉行政について（山田議員）

▼郷土資料館の設置について（栗原（宏）議員）

▼道路占用の適正ならびに更正図について（荒木（徳）議員）

なお、議員発議として「県医学試験場整備拡充」に関する意見書の提出について（栗原議員）

なされ、四十六年度補正予算が即決されたほかは請願、陳情も含め各委員会に付託されました。

なお、議員発議として

▼国鉄貨物機関の縮小廃止に伴う意見書の提出について

▼朝鮮民主主義人民共和国金日成首相誕生六十周年在日朝鮮人祝賀団の再入国要請に関する決議について

以上二件を議決し、それぞれの関係機関に送付されました。

第四日目（十五日）

第三、四日目にわたり市長の所信表明に対して各会派から次の議員が代表質問に立ち、市長の施策をただしました。

①片岡議員（新政会）
②深井議員（革新会）
③田中議員（新政会）
④山口議員（共産党議員）
⑤佐藤議員（革新会）
⑥荒木（徳）議員（無所属）
⑦伊藤議員（無政会）

また、一般質問では五名の議員から次のようなことが質問されました。

▼教育費の父兄負担の軽減について（飯沼議員）

▼商店街の発展政策について（栗原（宏）議員）

▼郷土資料館の設置について（加藤議員）

▼社会福祉行政について（山田議員）

▼道路占用の適正ならびに更正図について（荒木（徳）議員）

なお、議員発議として「県医学試験場整備拡充」に関する意見書の提出について（栗原議員）

なされ、四十六年度補正予算が即決されたほかは請願、陳情も含め各委員会に付託されました。

なお、議員発議として

▼国鉄貨物機関の縮小廃止に伴う意見書の提出について

▼朝鮮民主主義人民共和国金日成首相誕生六十周年在日朝鮮人祝賀団の再入国要請に関する決議について

以上二件を議決し、それぞれの関係機関に送付されました。

第四日目（十五日）

第三、四日目にわたり市長の所信表明に対して各会派から次の議員が代表質問に立ち、市長の施策をただしました。

①片岡議員（新政会）
②深井議員（革新会）
③田中議員（新政会）
④山口議員（共産党議員）
⑤佐藤議員（革新会）
⑥荒木（徳）議員（無所属）
⑦伊藤議員（無政会）

また、一般質問では五名の議員から次のようなことが質問されました。

▼教育費の父兄負担の軽減について（飯沼議員）

▼商店街の発展政策について（栗原（宏）議員）

▼郷土資料館の設置について（加藤議員）

▼社会福祉行政について（山田議員）

▼道路占用の適正ならびに更正図について（荒木（徳）議員）

なお、議員発議として「県医学試験場整備拡充」に関する意見書の提出について（栗原議員）

正義の味方は父親？

来月はこうしたいろんな夢を持つ新一年生が数多く誕生する。

さまざまな親の期待を一身に受けて、それよりも当の本人はいっぺんにとまどなになったような顔を胸をふくらませてもいようか。いまの一年生は、保育園・幼稚園など就学前の集団生活を経験してきている。

ぎて、本番になってとかく油断が多過ぎることを指摘しているのでとくご注意を。家庭とも学校の受け持ち分担はもちろんのこと、ひとつ注意を。

結構だが、執拗にしばりつけ遊ぶ時間も与えない特別扱いしてよい結果は生むまい。闘和活を経験しているので学校という社会への適応性は心配ないし、ずいぶんおとなびているのでそれは手数はかからない。ふみかきもほとんどできるし親が心配するほどではないのだが、担当する先生にいわせると就学前によみかきができず、時計を正確にヨメルわけでもないし、不思議とテレビの前に現われる。チャンネルを替えれ、同時に「仮面ライダー」のテーマソングが流れてくる。

コッペゼンと姿を見わすというほうがよいかも知れない。まったくその時間は正確である。好きな番組みせびる……まったく恐ろしい。

ボウズもことし一年生になるんだが、この信念で勉強の方も頑張ってくれれば……と逆説入れ入ってしまう。この一年生の新学期、ぜひ、ものわかりのよい、物分かりのよい父親。

成績は別問題として、一年生の新学期、ぜひ、ものわかりのよい、物分かりのよい父親。